

みえ県議会 だより

NO.
178

令和2年
(2020年)
8月1日

発行／三重県議会 編集／三重県議会広聴広報会議

「みえ県議会だより」に関するご意見・ご感想をお寄せください。

〒514-8570 津市広明町13 ☎059(224)2877

FAX 059(229)1931 ✉gikaik@pref.mie.lg.jp

URL <https://www.pref.mie.lg.jp/KENGIKAI/>

URL <http://www.gijiroku.jp/mie/> (スマホ版)

URL <https://www.facebook.com/miepref.gikai> (Facebook)



▲議会ホームページ ▲スマホ版議会だより ▲議会Facebookページ



橋ヶ崎 (熊野市)

～新型コロナウイルス感染症への対応経費等を含む 令和2年度補正予算などについて議論～

令和2年三重県議会定例会 6月定例月会議

新型コロナウイルス感染拡大防止のための補正予算や主要農作物の種子の生産等について必要な事項を定める主要農作物種子条例案などについて議論しました。

本号の主な内容

- 1面 審議結果と主な開催実績、新型コロナウイルス感染症対策に関する議会の取り組み、選挙区及び定数に関する在り方調査会を開催、三重県産材利用促進に関する条例検討会を開催
- 2～3面 一般質問、用語解説、文書による質問
- 4面 委員会の紹介、三重県議会定例会 今後の日程 (予定)

審議結果

可決した議員提出議案

○三重県政務活動費の交付に関する条例の一部を改正する条例案

可決した議案

○令和2年度三重県一般会計補正予算(第4号) ほか1件

予算

○三重県主要農作物種子条例案 ほか8件

その他議案

○工事請負契約の変更について ほか7件

人事案件(同意)

○公安委員会委員の選任につき同意を得るについて

可決した意見書案

○地方財政の充実及び強化を求める意見書案
○肉用牛肥育経営安定交付金制度(牛マルキン)に係る交付金の算定方法の見直しを求める意見書案

可決した決議案

○北朝鮮による日本人拉致問題の早急な解決を求める決議案

※議案の概要、議員別の賛否等の状況や意見書の内容などは、県議会ホームページの「本会議」からご覧いただけます。

審議結果と主な開催実績

主な開催実績

6月

3日 本会議
議提議案1件上程、議案18件上程

8日 本会議
議案に関する質疑(3人)
各分科会

10日 本会議
議案の審査、所管事項の調査
議案の審査

12日 本会議
一般質問(5人)、議案1件可決

16日 本会議
一般質問(4人)

18日、19日、22日、23日
各常任委員会・分科会
議案の審査、所管事項の調査

26日 予算決算常任委員会
議案の審査、所管事項の調査
議案の審査、所管事項の調査

30日 本会議
議案18件可決、議提議案1件可決、意見書案2件上程・可決、決議案1件上程・可決、人事同意議案1件上程・同意

※この他にも、議会運営委員会、代表者会議、全員協議会、議案聴取会、広聴広報会議、委員長会議など、さまざまな会議を開催しました。
※議員の各質問は、2ページ以降に掲載しています。

本会議等はインターネット中継や録画配信でもご覧いただけます。

新型コロナウイルス感染症対策に関する議会の取り組み

令和2年度三重県一般会計補正予算を審議・可決

6月3日に提出された「新型コロナウイルス感染症拡大防止に向けた『三重県指針』」に基づく取り組みを速やかに実行するための補正予算約81億円(※1)や、6月16日に提出された「命」と「経済」の両立をめざす「みえモデル」に基づく取り組みを速やかに実行するための補正予算約255億円(※2)に関する議案について審議・可決しました。

- ※1 感染拡大の防止や中小企業・小規模企業による販路開拓への支援等に要する経費
- ※2 医療提供体制の整備、医療従事者や介護・障がい福祉施設等職員への慰労金の支給等に要する経費

三重県政務活動費の交付に関する条例の一部を改正する条例案を審議・可決

5月13日の代表者会議において、「政務活動費」を令和2年7月から令和3年6月までの間、45%減額(既に30%減額しているところに15%を上乘せしめて減額)することを決定したことから、本定例会において関係条例の改正案を提出し可決しました。



本会議(6月30日)での採決の様子

選挙区及び定数に関する在り方調査会を開催

大学教授など外部の有識者8名を委員とした「選挙区及び定数に関する在り方調査会」では、「人口減少・地方創生時代における県議会の在り方や果たすべき役割」とそれらを踏まえた「三重県議会の議員の定数及び選挙区の在り方」について調査を行っています。5月29日に第6回調査会、6月22日に第7回調査会を開催し、「三重県議会の議員の定数及び選挙区の在り方」を中心に、総定数の考え方や現状より大きな選挙区の可能性等について、委員間で協議を行いました。

新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から調査会を延期した経緯を踏まえ、調査会では、本年10月を目途に最終的な取りまとめができるよう今後調査を進めていく予定です。

※調査会の各回の会議録、概要及び資料等は、三重県議会ホームページでご覧いただけます。



第6回調査会(Web会議)の様子

三重県産材利用促進に関する条例検討会を開催

三重県議会では、三重県産材利用促進に関する条例検討会を設置し、条例の制定に向けた調査および検討を行っています。4月から6月にかけては、4回の検討会を開催し、条例の方向性などについて協議を進めました。

4月15日の第5回検討会では、三重県森林組合連合会の尾崎重徳代表理事専務、株式会社萩原建設の萩原義雄代表取締役をお招きし、県産材生産の現状と課題、県産材の利用にあたっての設計面や建築技術面の課題などについて聴き取りを行いました。

なお、新型コロナウイルス感染症を巡る情勢を踏まえ、条例案の提出をめざす時期を見直し、令和3年3月を目途とすることとなりました。

今後、条例案提出に向けて、現地調査などもふまえ、丁寧に議論を重ねていきます。




第5回検討会の様子

一般質問

文中の傍線部分については、3ページに用語解説を掲載しています。

①「みえモデル」を貫く視点
②SDGsの推進について

山内 道明 議員
(公明党 / 四日市市選出)



問 コロナ禍において、あらためて、「人間の安全保障」の視点が貫かれているSDGsの推進の重要性が増しています。県においても、「命」と「経済」の両立をめざす「みえモデル」を策定しSDGsの視点を重視しているところですが、SDGsは特に分野横断的に取り組むことが重要です。今後どのような取り組みでいくのか知事の考えをお聞かせください。

答 持続可能性への認識が高まっている今こそ、県民の皆さんにSDGsへの理解を深めていただき、SDGsを「三重県らしい多様で包容力ある持続可能な社会」に向けた原動力にしていきます。また、県庁内に推進本部も立ち上げましたので、「みえモデル」も含め、SDGsを部局を横断的に進めていきます。



その他の質問事項

○多様な③性的指向・性自認に関する条例制定について

○県営住宅の連帯保証人を不要に！



▲一般質問 (山内道明 議員)

横断歩道塗り替え整備状況について

平畑 武 議員
(新政みえ / 鈴鹿市選出)



問 県の交通安全施設整備事業費の推移を見ると、ここ3年くらいは大幅に予算を増額し、横断歩道の新設や塗り替えを進めていただいております。しかし、現状を見ると、消えている横断歩道というのはいくつかあります。横断歩道の整備に決意がなければなりません。横断歩道の整備に向けて、予算は本当にこれでよいのかというところについてお聞かせください。



答 横断歩道3,100本の塗り替え予算を、毎年、向こう8年にわたり確保すれば、おおむね問題は解消されると考えています。今後も、すり減った横断歩道の塗り替えに力を入れていくとともに、横断歩道の整備と横断歩行者妨害の取締りの強化をパッケージで進めていきます。

その他の質問事項

○新型コロナウイルス関連のこれまでの支援策について

○県立学校のトイレ洋式化について



▲一般質問 (平畑武 議員)

男性の育児参画について

石垣 智矢 議員
(自由民主党県議団 / いなべ市・員弁郡選出)



問 三重県は、男性の育児参画先進県だと考えますが、民間企業などではまだまだ男性の育児参画は浸透していません。知事は、自ら育児休暇を取得し、男性の家事や育児が当たり前の社会づくりを行っていきたく強い決意を述べられています。そこで、男性の育児参画が当たり前となるような風土をつくるための取り組みについて、知事の考えをお聞かせください。

答 男性の育児参画に向けた風土づくりを進めるため、個人に向けた啓発を継続するとともに、企業や団体等に向けた「イクボス」の普及拡大、活用できる支援制度に関する情報提供等を行ってまいります。これからは私自身が先頭に立ち、社会の潮流を的確に捉えた取り組みを進めていきます。



その他の質問事項

○CSF (豚熱) 及びASF (アフリカ豚熱) 対策について

○令和8年度全面供用開始予定となった東海環状自動車道について



▲一般質問 (石垣智矢 議員)

コロナ社会、コロナの時代の襲来の中で！

館 直人 議員
(草莽 / 三重郡選出)



問 国体は、毎年、都道府県持ち回りで開催され、天皇杯・皇后杯が授与される「国内最大の国民のスポーツの祭典」といわれています。その国体の開催の延期や可否については、コロナが襲来した今だからこそ、直近に開催が予定される関係県だけでなく、国をあげて根本的な議論をすることが必要だと思いますが、知事の考えをお聞かせください。



答 三重とこわか国体・大会については、2021年の開催に向けて予定どおり準備を進めてまいります。今秋開催予定の鹿児島国体・大会の開催が危ぶまれる事態であること、誰が悪いわけでもないため、不要な対立構造とすることなく日本全体で影響が少なくなる対応とすることが重要であると考えています。

その他の質問事項

○学校教育に関する影響について

○観光事業者の再開に向けた支援について



▲一般質問 (館直人 議員)

新型コロナウイルス感染症の第2波に備えた企業支援について

中川 正美 議員
(自民党 / 伊勢市選出)



問 新型コロナウイルス感染症拡大の恐れが解消されない中、人々の消費マインドは悪化しており、県内でも、観光業をはじめとする多くの事業者が不安を抱えています。特に、中小企業・小規模企業の皆さまから事業継続や雇用維持に対する多くの不安の声を聞きます。こういった不安を解消し、危機を乗り越えていくため、県はどのような支援を行うのかお聞かせください。

答 本県経済をけん引する中小企業・小規模企業の皆さまが、安心して事業を継続していただくよう、引き続き、現場の声をしっかりと聞きながら、関係する全ての機関による「オール三重」で、資金繰り対策や販路拡大の支援など、あらゆる施策を総動員して、事業継続や雇用維持の取り組みを強力に支援してまいります。



その他の質問事項

○文化財防災の推進について

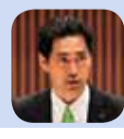
○新型コロナウイルス感染症の建設工事への影響等について



▲一般質問 (中川正美 議員)

新型コロナウイルス感染症下における今後の取組について

下野 幸助 議員
(新政みえ / 鈴鹿市選出)



問 新型コロナウイルス感染症拡大が危惧されている中、風水害や地震などの複合災害の発生もふまえ、避難時の3密(密閉、密集、密接)の回避など、感染拡大防止の観点から市町とどのように連携して取り組んで行くのか、また、災害発生時に感染症対策を取りながら被災者へ物資搬送を行うのか、県の考えをお聞かせください。



答 県では、避難場所での感染防止に向け、補助金や関係団体との調整、情報等の提供により、市町の避難所確保や環境整備の取り組みを支援しています。また、物資運搬にあたっては、職員や物流業者等の感染防止対策を徹底するとともに、市町への助言や感染防止対策を取り入れた防災訓練の実施などにより体制整備を進めます。

その他の質問事項

○第三次行動計画における人口減少対策について


○関係人口づくりと移住の促進に向けた事業について



▲一般質問 (下野幸助 議員)

看護師等養成所におけるオンライン教育の環境整備について

小林 貴虎 議員
(自由民主党県議団 / 津市選出)



問 新型コロナウイルス感染症の影響により、看護師等養成所も休校となり、授業日数や実習など、看護師になるために必要な国家試験の受験資格は満たすことができないのかといった心配があります。全ての看護師等養成所の生徒が整った環境で学ぶことができるよう、養成所におけるオンライン教育の環境整備に対し支援を行うべきだと思っておりますが、県の考えをお聞かせください。

答 新型コロナウイルス感染症の第2波の発生に備え、県内全ての看護師等養成所で遠隔での授業が行えるよう、国の第2次補正予算を活用し、環境整備等に係る経費を補正予算に計上してまいります。次世代を担う看護師等の養成、人材育成が着実に進められるよう引き続き支援に努めます。



その他の質問事項

○アフターコロナ観光促進施策について

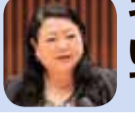
○行政のデジタル化について



▲一般質問 (小林貴虎 議員)

南海トラフ巨大地震等における防災対策について

谷川 孝栄 議員
(草莽)
熊野市・南牟婁郡選出



問

南海トラフ巨大地震や大規模な風水害が発生した際の災害対応にあたっては、他の地域から支援を受ける必要がありませんが、奈良県、和歌山県は地理的な距離が近いことに加え、危機感も共有できると考えています。南海トラフ巨大地震等が発生した場合に備えた奈良県、和歌山県との連携に向けた取り組みについて、知事の考えをお聞かせください。

答

奈良県、和歌山県と3県で、災害時等の相互応援協定の締結やさまざまな合同訓練の実施などの取り組みを行っています。また、紀伊半島知事会議においても連携強化を進めており、来年、紀伊半島大水害から十年を迎えることから、これまでの連携の成果や課題を検証し、今後、3県での緊密な連携を図ります。



その他の質問事項

○新型コロナウイルス感染症の影響による東紀州の経済再生対策について
○インターネット上の誹謗中傷・人権侵害について
てほか



▲一般質問 (谷川孝栄 議員)

ウィズコロナにおける文化・芸術活動について

田中 智也 議員
(新政みえ)
四日市市選出

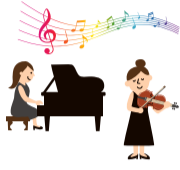


問

三重県の文化芸術活動は、官民の連携による新たな試み等が他の都道府県から三重モデルとして評価されるほどのものです。しかし、今回のコロナ禍においてその活動は自粛され、県内の文化芸術に関わる人たちはさまざまな支援を必要としています。県としてこの状況をどのように把握し、今後どのように支援を行っていくのかをお聞かせください。

答

文化芸術活動は多分野にわたることから、ニーズ把握は難しい状況でした。支援については、国の2次補正予算に係る事業等についても引き続き活用いただけるよう引き続き丁寧に周知していきます。また、文化施設利用者が活動しやすくなるよう感染症対策の具体例をお示するとともに、市町にも情報共有していきたいと考えています。



その他の質問事項

○子どもの権利が尊重される三重づくり
○人口集中地域における河川の安全・安心
全・安心
てほか



▲一般質問 (田中智也 議員)

特別支援学校に通う医療的ケア児等の通学保障について

津田 健児 議員
(自由民主党県議団)
四日市市選出



問

医療的ケアの体制において、看護師の役割は非常に大きいですが、学校に勤務する看護師は、医師がいらない中で医療行為の判断を求められる場合があることから不安やストレスを感じることも多く、看護師確保の課題として指摘されています。このような中、県はどのように看護師の配置を安定的かつ計画的に行っていくのかをお聞かせください。

答

看護師を正規の職員として任用している県の成果や課題について調査していきます。また、医師等の有識者からアドバイスを受けている特別支援学校メデイカル・サポート会議の意見も聞きながら、特別支援学校における医療的ケアがより安全に行える体制について研究していきます。



その他の質問事項

○多文化共生の取組について
○観光誘客に つなげるトイレルの整備について
てほか



▲一般質問 (津田健児 議員)

感染症対策を見据えた保健所機能の充実について

北川 裕之 議員
(新政みえ)
名張市選出



問

県行政において感染症対策の最前線となるのは地域の保健所であり、その役割は、これからさらに大きくなると考えられます。しかし、過去からの人材不足はいまだ解消できておらず、保健所長をはじめとする公衆衛生医師の不足は危機的な状況と認識しています。今後の公衆衛生医師の確保について県のお考えをお聞かせください。

答

県では、医師と自治体とを仲介する国の「公衆衛生医師確保推進登録事業」を通じての人材確保に係る情報提供や、県内外の大学・医療機関等さまざまなネットワークを活用した人材確保に取り組んでいます。今後は医師向けの求人誌に情報を掲載するなど、公衆衛生医師の新たな採用に結び付けていきます。



その他の質問事項

○今、改めて問いたい地方分権について
○タンDEM自転車公道の走行解禁について
てほか



▲一般質問 (北川裕之 議員)

三重とこわか国体・とこわか大会について

舟橋 裕幸 議員
(新政みえ)
津市選出



問

新型コロナウイルス感染症により、経済の落ち込みは著しいものがあります。来年度県税収入の大幅減収が予想される中、両大会の開催経費をどの程度見込んでいますか。県民感情や東京2020大会の簡素化の動きもふまえ、選手が実力を発揮できる環境整備等に絞り、簡素化を図る必要があると思いますが、いかがですか。

答

開催2年前と開催1年前の経費は、東京都を除く平成24年度から6年間の開催県の平均額と同程度ですが、資材費等が上昇傾向にあり、開催年の経費増を懸念しています。東京2020大会の方針にも配慮し、国体準備業務全般にわたり、合理化と経費節減に努め、簡素化に向けた努力を続けていきます。



三重とこわか国体・三重とこわか大会マスコットキャラクターとこまる

その他の質問事項

○新型コロナウイルスと共存する社会に向けて
てほか



▲一般質問 (舟橋裕幸 議員)

用語解説

1 「みえモデル」

全国的に緊急事態宣言が解除され、新型コロナウイルス感染症対策が新たなフェーズに入った時機をとらえ、県では3月の緊急経済対策、4月の緊急総合対策として、「命」と「経済」の両立をめざす「みえモデル」を策定しました。

2 SDGs

Sustainable Development Goals (持続可能な開発目標)の略称で、持続可能な世界を実現するため、国連加盟193か国が2016年、2030年の15年間で達成する国際目標である。貧困や健康、教育など17の目標、169のターゲットから構成されており、2015年9月の国連サミットで採択されました。

3 性的指向・性自認

性的指向とは、人の恋愛・性愛がどのような対象に向かうのかを示す概念を言います。具体的には、恋愛・性愛の対象が異性に向かう異性愛、同性に向かう同性愛、男女両方に向かう両性愛を指します。性自認とは、自分の性をどのように認識しているのか、どのような性のアイデンティティ(性別同一性)を自分の感覚として持っているのかを示す概念です。「この性の性」と呼ばれることもあります。

4 フイクロス

子育て等を行う職員等の仕事と家庭生活の両立を支援し、応援、サポートします。

5 CSF

Classical swine fever (豚熱)の略称で、CSFウイルスにより起こる豚、いのししの熱性伝染病で、強い感染力と高い致死率が特徴です。

6 ASF

African swine fever (アフリカ豚熱)の略称で、ASFウイルスが豚やいのししに感染する伝染病であり、発熱や全身の出血性病変を特徴とする致死率の高い伝染病です。

7 スマート改革

デジタル技術の活用やコミュニケーションの促進を図ることによって、仕事の生産性の向上、正確性の確保とともに働き方の質を高める取り組みのことをいいます。

8 アーツカウンシル

高い専門性を持つスタッフが、芸術文化の振興を目的として各種芸術文化事業への助成を中心とする支援を行う独立機関のことをいいます。

9 医療的ケア

学校や在宅等で日常的に行われている、たんの吸引、経管栄養、気管切開部の衛生管理等の医療行為のことをいいます。

文書による質問

三重県議会基本条例第14条の2の規定に基づき、次のとおり文書による質問が提出されました。
○稲森松尚議員(草の根運動い)が「新型コロナウイルス後の未来像を見据えた県政運営について」
※質問と回答は、三重県議会ホームページをご覧ください。

委員会の紹介

行政部門別常任委員会、特別委員会の活動を紹介します。

総務地域連携常任委員会

行財政の運営、地域振興の推進、スポーツの振興、県南部地域の活性化などについて、審査・調査します。

〔重点調査項目〕

○**行財政改革の取組について**
今年度からスタートした「第三次三重県行財政改革取組」の進捗管理の状況をはじめとして、三重県の行財政運営に係る諸課題について調査します。

○**交通政策について**

県民の日常生活を支える公共交通の維持・確保や次世代モビリティ等を活用した新たな移動手段の確保に向けた取り組みについて調査します。

○**移住の促進について**

地域の活力の維持・向上に向けた移住促進の取り組みについて調査します。

○**スポーツの推進について**

三重とこわか大会開催に向けた準備状況や競技力の向上、スポーツを通じた地域活性化への取り組みについて調査します。

○**南部地域の活性化について**

市町と連携した県南部地域の活性化の取り組みや、熊野古道の活用促進について調査します。



桑名市における自動運転バスの実証実験の様子

環境生活農林水産常任委員会

生活文化行政の推進、環境保全の推進、廃棄物対策、農林水産業の振興などについて、審査・調査します。

〔重点調査項目〕

○**新型コロナウイルス感染症の収束を見据えた対策**
安全・安心な暮らしの実現

・**県産農林水産物の産地消の促進**
新型コロナウイルス感染症により影響を受けた県民生活や県内の農林水産業への対策について調査します。

○**多様な豊かな文化の振興と活用**

県民の皆さんが主体的に文化にふれ親しみ、支え、創造することができる取り組みについて調査します。

○**脱炭素社会の実現**

脱炭素社会の実現に向け、さまざまな主体と連携したオール三重での取り組みについて調査します。

○**CSF・ASF対策**

CSF等の感染拡大防止対策、きめ細やかな経営支援対策、風評被害対策などについて調査します。



県産養殖マダイフェアの様子

防災県土整備企業常任委員会

危機管理・防災対策の推進、公共土木施設の整備・維持管理、都市計画・住宅・その他土木行政の推進、公営企業（病院事業を除く）の運営などについて、審査・調査します。

〔重点調査項目〕

○**新型コロナウイルス感染症等に係る危機管理**
新型コロナウイルス感染症への対応をはじめとした危機管理について調査します。

○**防災・減災対策**

地震や津波、土砂災害や風水害などによる被害軽減に向けたソフト・ハード両面の取り組みについて調査します。

○**道路整備**

県内外からの集客・交流や地域の経済活動を支える道路整備について調査します。

○**建設産業の活性化**

社会資本の整備や雇用の創出など重要な役割を担う建設産業の活性化について調査します。



令和元年度 緊急消防援助隊近畿ブロック合同訓練の様子

差別解消を旨とする 条例検討調査特別委員会

様々な差別の解消に向け、既存の条例と整合を図りながら、新たな条例制定も視野に入れ、調査・検討を行います。

〔調査の概要〕

本委員会では、新型コロナウイルス感染症に関わる差別など近年問題となっているさまざまな差別の実態の調査、「人権が尊重される三重をつくる条例」およびそれに基づく県の人権施策の検証、差別解消に関する条約や法律、他都道府県の条例の調査などを行い、それらを踏まえて差別解消に向けた条例のあり方を検証することとしています。

6月1日に開催した委員会では、委員会の活動計画について協議しました。

また、6月26日に開催した委員会では、環境生活および医療保健部から、県の差別解消に関する取り組みなどについて聴き取りを行いました。



特別委員会（6月26日）の様子

戦略企画雇用経済常任委員会

県政の総合企画調整、雇用対策、エネルギー政策、産業振興（農林水産業を除く）、国際交流、観光の振興、会計管理、監査その他行政運営の適正確保などについて、審査・調査します。

〔重点調査項目〕

○**新型コロナウイルス感染症により停滞した経済の再生・活性化を図るため、感染症の収束を見据えた次の対策について調査します。**

○**みえ県民力ビジョン・第三次行動計画の推進**
みえ県民力ビジョン・第三次行動計画の的確な進捗管理について調査します。

○**中小企業・小規模企業の復興と振興**

資金繰り対策、資金支援、ものづくり産業の強靱化等、事業継続への支援を調査します。

○**観光産業の回復**

国内外に向けた観光のデジタル化の推進、ワークেশションや安全安心な地域密着型の旅行を促進するための支援等を調査します。

○**新たな産業の創出**

さまざまな産業分野において、新しい商品・サービス創出を目指す取り組みを調査します。



「空飛ぶクルマ」の実用化に向けた取り組みのイメージ

医療保健子ども福祉病院常任委員会

医療・介護行政の推進、保健衛生行政の推進、子ども・青少年の育成、社会福祉・社会保障の推進、病院事業の運営などについて、審査・調査します。

〔重点調査項目〕

○**新型コロナウイルス感染症対策の現状と今後の課題**
医療・検査体制の整備や三重県感染症対策条例（仮称）の制定等について調査します。

○**地域医療提供体制の確保**
医師の偏在是正に向けた取り組み等について調査します。

○**障がい者の自立と共生社会づくり**

障がい者が自立し、生きがいおよび安心を実感できる社会づくりの推進について調査します。

○**健康づくりの推進**

健康寿命の延伸に向けた取り組み等について調査します。

○**子どもを育てる環境づくり**

子育て支援や幼児教育・保育の充実に関する取り組み等について調査します。



令和元年度 三重県障がい者芸術文化祭の様子

教育警察常任委員会

学校教育の充実、社会教育・文化財保護行政の推進、警察の組織・運営などについて、審査・調査します。

〔重点調査項目〕

○**新型コロナウイルス感染症にかかるとの対応**
臨時休業による影響を緩和するための対策や、感染症対策を徹底し学びを継続するための対応について調査します。

○**夜間中学**

外国籍の人も含め、義務教育を受ける機会を実質的に保障するためのさまざまな役割が期待されている夜間中学について調査します。

○**安全で安心な教育環境づくり**

いじめや不登校、インターネットトラブルから子どもたちを守る取り組みや防災教育・防災対策の推進について調査します。

○**総合的な犯罪抑止対策と交通安全対策**

特殊詐欺等の犯罪抑止対策や交通安全対策について調査します。



交通安全街頭活動の様子

三重県議会定例会 今後の日程（予定）

9月	9月4日	代表者会議	
9月	9月10日	議会運営委員会	
9月	9月17日	本会議（議案上程）	
9月	9月24日	本会議（議案質疑）	
9月	9月30日	本会議（一般質問）	
9月	9月30日	本会議（一般質問）	
10月	10月2日	本会議（一般質問）	
10月	10月5日	予算決算常任委員会	
10月	10月6日	全員協議会	
10月	10月7日	9日、12日	各常任委員会及び分科会
10月	10月15日	予算決算常任委員会	
10月	10月15日	代表者会議	
10月	10月16日	本会議（代表質問）	
10月	10月16日	議会運営委員会	
10月	10月19日	本会議（採決・議案上程）	
10月	10月22日	予算決算常任委員会	
10月	10月22日	全員協議会	
10月	10月23日	予算決算常任委員会	
10月	10月28日	予算決算常任委員会（決算総括質疑）	
10月	10月29日	予算決算常任委員会	
10月	10月30日	予算決算常任委員会	

※この日程は、令和2年7月3日現在の予定です。最新の情報は、県議会ホームページの「議会の日程」でご覧いただけます。